

# デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）に係る事業評価

## A. 基礎情報

交付対象事業の名称	実績額（総事業費） [単位：円]
群馬県インバウンド誘客推進事業	22,205,000

## B. KPIの設定・成果

ア. 本事業における重要業績評価指標（KPI）の名称		KPI 1		KPI 2		KPI 3		KPI 4	
		外国人宿泊者数		外国人宿泊者1人あたり平均宿泊日数		専用サイトセッション数		Gunma Excellence施設数	
KPIの当初値	オ. 事業実施計画の申請時点	当初値	[単位]	当初値	[単位]	当初値	[単位]	当初値	[単位]
	※事業実施計画上の事業開始前（現時点）をご記載ください。	55,000	人泊	1.17	泊	210,896	セッション	37	施設
		計測年月		計測年月		計測年月		計測年月	
		令和2	年 12 月	令和2	年 12 月	令和3	年 3 月	令和2	年 3 月
事業実施計画の申請時点での、KPIの目標値設定	キ. (継続事業のみ) 令和2年度増加分	目標値 (増分)	[単位]	目標値 (増分)	[単位]	目標値 (増分)	[単位]	目標値 (増分)	[単位]
	ク. (継続事業のみ) 令和3年度増加分	45,000	人泊	0.01	泊	39,104	セッション	8	施設
	ケ. (継続事業のみ) 令和4年度増加分	100,000	人泊	0.1	泊	20,000	セッション	10	施設
	コ. (継続事業のみ) 令和5年度増加分	200,000	人泊	0.03	泊	650,000	セッション	15	施設
	サ. (継続事業のみ) 令和6年度増加分	95,000	人泊	0.25	泊	150,000	セッション	15	施設
	シ. 上記キ～サの累計 (自動表示)	目標値 (増分)	[単位]	目標値 (増分)	[単位]	目標値 (増分)	[単位]	目標値 (増分)	[単位]
		440,000	人泊	0.39	泊	859,104	セッション	48	施設
KPIの実績値	セ. (継続事業のみ) 令和2年度増加分の実績値	実績値 (増分)	[単位]	実績値 (増分)	[単位]	実績値 (増分)	[単位]	実績値 (増分)	[単位]
	ソ. (継続事業のみ) 令和3年度増加分の実績値	-37,710	人泊	0.30	泊	-114,469	セッション	20	施設
	タ. (継続事業のみ) 令和4年度増加分の実績値	29,380	人泊	-0.07	泊	486,878	セッション	13	施設
	チ. (継続事業のみ) 令和5年度増加分の実績値	193,220	人泊	-0.18	泊	-105,701	セッション	12	施設
	ツ. (継続事業のみ) 令和6年度増加分の実績値	128,790	人泊	0.03	泊	137,726	セッション	0	施設
	※見込みではなく実績をご記載ください。	目標値に対する達成度合い		目標値に対する達成度合い		目標値に対する達成度合い		目標値に対する達成度合い	
		136 %	① 目標値を達成	12 %	④ 目標値の達成は5割未満	92 %	② 目標値の7割以上達成	0 %	④ 目標値の達成は5割未満
テ. KPI増加分の累計 (実績)	実績値 (増分)		[単位]	実績値 (増分)		[単位]	実績値 (増分)		[単位]
	313,680		人泊	0.08		泊	404,434		セッション
	71 %		② 目標値の7割以上達成	21 %		④ 目標値の達成は5割未満	47 %		④ 目標値の達成は5割未満
		71 %		② 目標値の7割以上達成		47 %		④ 目標値の達成は5割未満	
ナ. 実績値累計 (テ) の目標達成・未達理由 (達成または未達になった理由、及び未達の場合は今後の解決策 (案) )		インバウンド誘客のための受入環境整備、コンテンツ創出支援を進めるとともに、認知度向上のためのプロモーションを群馬県観光物産国際協会と連携して実施する。		長期滞在するための体験コンテンツ不足が要因の一つであるため、コンテンツ創出に向けた支援を実施する。		令和5年度と比較し、全ての言語（英語、繁体字、簡体字、タイ語）でセッション数は増加した。目標達成に向けて、アクセス分析を継続し、新規ストーリーの作成や新規ビジュアルコンテンツの追加等を実施する。		令和6年度にGunma Excellence施設廃止のため。	

有識者コメント	
<p>外国人観光客に群馬県の魅力を効果的にPRするには、情報発信や受入施設の充実が不可欠である。オンライン研究会や多言語観光情報サイトの拡充など、現状の取組は一定の成果を上げており、現場確認や既存コンテンツのブラッシュアップも有効である。</p> <p>一方で、宿泊者数はやや低下傾向にあり、新たな施策も必要と考えられる。特に、来訪者が多い施設や場所を重点的にブラッシュアップし、発信を強化することや、訪問動機をヒアリングやデジタルツールで把握し、フィードバックに活かす仕組みづくりが有効である。</p> <p>また、観光事業に直接関わらない県民に対しても、外国人観光客を迎える意識の醸成が重要である。観光客と県民の交流機会を増やし、「出会えて楽しかった」と多くの県民が実感できる環境を整えることは、インバウンドの盛り上がりだけでなく、県民の幸福度向上にもつながる。</p> <p>KPIの達成状況を見ると、外国人宿泊者数は目標を上回っており、各種事業が一定の成果をあげたと評価できる。一方、外国人宿泊者1人あたりの平均宿泊日数は伸び悩んでおり、長期滞在につながる体験型コンテンツの創出が今後の課題である。</p> <p>今後も、事業効果を十分に分析しながら、コト消費の流れを捉えつつ群馬県ならではの体験型コンテンツを創出し、長期滞在やリピーターの増加につなげることが期待される。</p>	

# デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）に係る事業評価

## A. 基礎情報

交付対象事業の名称	実績額（総事業費） [単位：円]
eスポーツを活用した産業・地域活性化事業	17,446,000

## B. KPIの設定・成果

ア. 本事業における重要業績評価指標（KPI）の名称		KPI 1		KPI 2		KPI 3		KPI 4				
		当初値	[単位]	当初値	[単位]	当初値	[単位]	当初値	[単位]			
KPIの当初値	オ. 事業実施計画の申請時点	1	回	10,000	回	0	社	900	人			
	※事業実施計画上の事業開始前（現時点）をご記載ください。	計測年月 令和2 年 10 月		計測年月 令和2 年 10 月		計測年月 令和2 年 10 月		計測年月 令和2 年 10 月				
事業実施計画の申請時点での、KPIの目標値設定	キ. (継続事業のみ) 令和2年度増加分	目標値 (増分)	[単位]	目標値 (増分)	[単位]	目標値 (増分)	[単位]	目標値 (増分)	[単位]			
	ク. (継続事業のみ) 令和3年度増加分	2	回	4,500	回	6	社	400	人			
	ク. (継続事業のみ) 令和4年度増加分	1	回	3,000	回	3	社	300	人			
	コ. (継続事業のみ) 令和5年度増加分	1	回	3,000	回	3	社	300	人			
	サ. 令和6年度増加分	3	回	20,000	回	5	社	300	人			
	シ. 上記キ～サの累計 (自動表示)	目標値 (増分)	[単位]	目標値 (増分)	[単位]	目標値 (増分)	[単位]	目標値 (増分)	[単位]			
		7	回	30,500	回	17	社	1,300	人			
KPIの実績値	セ. (継続事業のみ) 令和2年度増加分の実績値	実績値 (増分)	[単位]	実績値 (増分)	[単位]	実績値 (増分)	[単位]	実績値 (増分)	[単位]			
	ソ. (継続事業のみ) 令和3年度増加分の実績値	2	回	15,200	回	26	社	1,300	人			
	タ. (継続事業のみ) 令和4年度増加分の実績値	3	回	24,400	回	17	社	67	人			
	チ. (継続事業のみ) 令和5年度増加分の実績値	3	回	25,800	回	14	社	108	人			
	ツ. 令和6年度増加分の実績値	5	回	52,224	回	7	社	167	人			
	※見込みではなく実績をご記載ください。	目標値に対する達成度合い		目標値に対する達成度合い		目標値に対する達成度合い		目標値に対する達成度合い				
	167	%	① 目標値を達成	261	%	① 目標値を達成	140	%	① 目標値を達成	56	%	③ 目標値の5割以上達成
デ. KPI増加分の累計 (実績)	実績値 (増分)	[単位]	実績値 (増分)	[単位]	実績値 (増分)	[単位]	実績値 (増分)	[単位]				
	13	回	117,624	回	64	社	1,642	人				
	目標値に対する達成度合い		目標値に対する達成度合い		目標値に対する達成度合い		目標値に対する達成度合い					
	186	%	① 目標値を達成	386	%	① 目標値を達成	376	%	① 目標値を達成	126	%	① 目標値を達成
ナ. 実績値累計 (デ) の目標達成・未達理由 (達成または未達になった理由、及び未達の場合は今後の解決策 (案))	大規模イベント・大会の開催数は、大幅な伸びはないものの、着実に主催事業の開催や誘致することができている。eスポーツ先導型としての認知が広がり、群馬県をeスポーツイベントの会場地として検討し始めることにつながっている。		視聴回数は、年々増加している。令和6年度も、運営を県内事業者中心に委託し、直接市場だけでなく、周辺領域の活性化に寄与した。		県主催のeスポーツリーグは、毎年新規参加企業を迎えており、eスポーツ活動に取り組み企業数は増加している。eスポーツを通じた異業種交流が活発になるなど、新たなビジネス機会の創出に寄与した。		実践的なセミナー（研修）により、eスポーツ業界で活躍できる人材育成を実施した。また、eスポーツをビジネスに取り組み企業、団体などの講演等を内容としたカンファレンスの開催により、県内のeスポーツビジネスシーンの活性化にも寄与した。					

有識者コメント
群馬県におけるeスポーツの普及・推進は、徐々に増加傾向にあるものの、絶対数はまだ少ない。事業の目標は、観光誘客や多様な社会参加、デジタルツール活用人材の育成、周辺産業の振興などに設定されている。今後は、この事業の成果をデータ化し、目標達成度を客観的に評価することが望ましい。一定の効果が見られることから、民間主導への移行は適切であると考えられる。一方で、県内のeスポーツをさらに盛り上げるためには、大会誘致に加えて、eスポーツに適した高速ネット環境を備えた施設を整備し、リモートで大会に参加できる環境を整えることも重要である。この点に関しては、担い手として民間事業者が適している可能性が高い。

# デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）に係る事業評価

## A. 基礎情報

交付対象事業の名称	実績額（総事業費） [単位：円]
ぐんまのクリエイティブ拠点化推進	32,363,254

## B. KPIの設定・成果

ア. 本事業における重要業績評価指標 (KPI) の名称		KPI 1		KPI 2		KPI 3		KPI 4	
		当初値	[単位]	当初値	[単位]	当初値	[単位]	当初値	[単位]
KPI の当初値	オ. 事業実施計画の申請時点 <small>※事業実施計画上の事業開始前（現時点）をご記載ください。</small>	0	人	0	人			0	人
	計測年月	令和3 年 3 月		令和3 年 3 月		計測年月		令和2 年 月	
事業実施計画の申請時点での、KPI の目標値設定	キ. (継続事業のみ) 令和2年度増加分	-	人	-	人			-	人
	ク. (継続事業のみ) 令和3年度増加分	200	人	40	人			0	人
	ケ. (継続事業のみ) 令和4年度増加分	75	人	20	人			1,000	人
	コ. (継続事業のみ) 令和5年度増加分	80	人	21	人			500	人
	サ. 令和6年度増加分	80	人	21	人			500	人
	シ. 上記キ～サの累計 (自動表示)	435	人	102	人			2,000	人
KPI の実績値 <small>※見込みではなく実績をご記載ください。</small>	セ. (継続事業のみ) 令和2年度増加分の実績値	-	人	-	人			-	人
	ソ. (継続事業のみ) 令和3年度増加分の実績値	200	人	40	人			0	人
	タ. (継続事業のみ) 令和4年度増加分の実績値	1,110	人	8	人			566	人
	チ. (継続事業のみ) 令和5年度増加分の実績値	1,445	人	26	人			570	人
	ツ. 令和6年度増加分の実績値	1,385	人	21	人			675	人
	テ. KPI増加分の累計 (実績)	4,140	人	95	人			1,811	人
ナ. 実績値累計 (テ) の目標達成・未達理由 (達成または未達になった理由、及び未達の場合は今後の解決策 (案))	利用者のニーズに合わせた講座の更新や、近隣小中学校の教師に焦点を当てた広報等に努めることにより、目標を達成することができた。			令和4年度増加分の実績値が足りなかったため、全体としては目標値に及ばなかったが、それ以降は各事業でクリエイターの耳目を集めることに成功し、半年度の目標は達成している。継続的に実施したい。			県外からの応募者数は大幅に増加したものの、県内の応募者数が前年度から伸びなかったため目標値に達しなかった。県内の学校への広報は積極的に行っているが、今後は学校以外の場所や媒体をさらに活用し、新たな層への認知拡大を図る必要がある。		

有識者コメント	
<p>県内教育機関等との連携により、目標を達成できた点は高く評価できる。特に、県を挙げてクリエイティブ人材の育成に注力している取組は、年々広く周知されつつある。KPI1「デジタルクリエイティブセンターイベント参加者数」は目標値を大きく上回る実績を示しており、事業の注目度と効果が確認できる。いずれの指標も単年度目標を達成している。</p> <p>デジタルクリエイティブ人材の育成では、tsukurunの運営や県内市町村への出張講座、サテライト拠点整備などの取組が実を結び、県内市町村への波及効果が認められている。県立高校への拠点整備を通じ、さらに多くの県民に広がることも期待される。</p> <p>また、県内外から注目を集める各種取組は、デジタル・クリエイティブを新たな産業の柱とする上でも意義が大きい。国内外からの投資を促すPRコンテンツの活用により、今後の企業誘致活動にもつながる可能性がある。</p> <p>一方で、クリエイターが県内に定着して活動する環境はまだ十分とは言えず、企業誘致や起業への直接的な波及力は限定的である。今後は、クリエイターを目指す若手人材の輩出や魅力的なコンテンツの創出を通じて、「日本最先端クラスのデジタル県推進事業」として群馬県の強みへ発展させることが期待される。</p> <p>さらに、アーティストの県内移住が増加傾向にあることから、県民の創造性や感性の向上のためにも、事業の継続が望ましい。併せて、県内の参加者・応募者をさらに増やすための周知活動にも注力することが課題である。</p>	

# デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）に係る事業評価

## A. 基礎情報

交付対象事業の名称	実績額（総事業費） [単位：円]
ものづくり産業DX推進事業	66,321,731

## B. KPIの設定・成果

ア. 本事業における重要業績評価指標（KPI）の名称		KPI 1		KPI 2		KPI 3		KPI 4		
		当初値	[単位]	当初値	[単位]	当初値	[単位]	当初値	[単位]	
<b>KPIの当初値</b>	オ. 事業実施計画の申請時点 <small>※事業実施計画上の事業開始前（現時点）をご記載ください。</small>	0	件	0	人	0	%	0	件	
	計測年月	令和2	年	令和2	年	令和2	年	令和2	年	
事業実施計画の申請時点での、 <b>KPIの目標値設定</b>	キ. (継続事業のみ) 令和2年度増加分	1	件	10	人	0	%	0	件	
	ク. (継続事業のみ) 令和3年度増加分	2	件	60	人	55	%	5	件	
	ク. (継続事業のみ) 令和4年度増加分	4	件	60	人	60	%	7	件	
	シ. (継続事業のみ) 令和5年度増加分	5	件	70	人	66	%	10	件	
	シ. (継続事業のみ) 令和6年度増加分	12	件	200	人	181	%	22	件	
	シ. 上記キ～サの累計 (自動表示)	12	件	200	人	181	%	22	件	
KPIの実績値 <small>※見込みではなく実績をご記載ください。</small>	セ. (継続事業のみ) 令和2年度増加分の実績値	1	件	22	人	0	%	0	件	
	ソ. (継続事業のみ) 令和3年度増加分の実績値	6	件	87	人	46.15	%	0	件	
	タ. (継続事業のみ) 令和4年度増加分の実績値	5	件	85	人	46.25	%	0	件	
	チ. (継続事業のみ) 令和5年度増加分の実績値	7	件	113	人	63.02	%	0	件	
	ツ. 令和6年度増加分の実績値	140	%	① 目標値を達成	161	%	① 目標値を達成	95	%	② 目標値の7割以上達成
	テ. KPI増加分の累計 (実績)	19	件	307	人	155.42	%	0	件	
ナ. 実績値累計（テ）の目標達成・未達理由 (達成または未達になった理由、及び未達の場合は今後の解決策（案）)		「デジタルソリューションラボ」を拠点とした支援により、中小企業での導入が進んだことにより目標を達成した。		各種人材育成講座に対する受講希望者が定員を上回ったことにより、目標を達成した。		サプライヤー企業におけるCAE導入のハードルは費用面で非常に高く、急激な浸透は見込めないが、当事業を通してCAE導入の重要性について理解を促し、中・長期的視点で目標値を達成していきたい。		昨年度から金属積層の試作に対する支援事業を新たに開始したが、即座に試作受託には至らなかった。令和7年度は試作支援事業を継続し裾野を広げつつ、金属積層の特長を活かした部品や治具等の試作を行い、目標値を目指す。		

有識者コメント	
<p>目標は製造業の競争力強化であり、その手段としてデジタル推進が位置付けられる。ビジネス環境の変化は現場が最も理解しているため、多くの企業へのヒアリングを重ね、時流に即した支援策を創出することが求められる。</p> <p>「デジタルソリューションラボ」を拠点とした支援や、5G適用可能技術を導入する企業の増加、デジタルエンジニアなどの人材需要の高まりにより、KPI1およびKPI2は高い達成率を示した。一方で、CAE活用は費用面などのハードルが高く、金属積層技術については活動開始から日が浅いため、KPI目標の達成に向けて継続的な取組が必要である。</p> <p>交付金事業は地方創生に一定の効果をもたらしており、今後も支援や人材育成を継続していくことが重要である。</p>	

# デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）に係る事業評価

## A. 基礎情報

交付対象事業の名称	実績額（総事業費） [単位：円]
健康をコンテンツとした地域活性化促進事業	40,701,627

## B. KPIの設定・成果

ア. 本事業における重要業績評価指標(KPI)の名称		KPI 1		KPI 2		KPI 3				KPI 4	
		当初値	[単位]	当初値	[単位]	当初値	[単位]	当初値	[単位]	当初値	[単位]
KPIの当初値	オ. 事業実施計画の申請時点	0	人	10	品目	27,011	人			0	人
	※事業実施計画上の事業開始前(現時点)をご記載ください。	計測年月		計測年月		計測年月				計測年月	
		令和元	年		月	令和元	年	4	月	令和元	年
事業実施計画の申請時点でのKPIの目標値設定	キ. (継続事業のみ) 令和2年度増加分	8,000	人	4	品目	0	人			0	人
	ク. (継続事業のみ) 令和3年度増加分	8,500	人	6	品目	40,000	人			20,000	人
	ク. (継続事業のみ) 令和4年度増加分	9,000	人	6	品目	80,000	人			4,000	人
	コ. (継続事業のみ) 令和5年度増加分	2,800	人	6	品目	120,000	人			1,000	人
	サ. 令和6年度増加分	2,800	人	6	品目	140,000	人			1,000	人
	シ. 上記キ～サの累計(自動表示)	31,100	人	28	品目	380,000	人			26,000	人
KPIの実績値	セ. (継続事業のみ) 令和2年度増加分の実績値	937	人	4	品目	0	人			0	人
	ソ. (継続事業のみ) 令和3年度増加分の実績値	2,959	人	6	品目	27,011	人			28,490	人
	タ. (継続事業のみ) 令和4年度増加分の実績値	3,566	人	7	品目	18,162	人			11,358	人
	チ. (継続事業のみ) 令和5年度増加分の実績値	3,169	人	6	品目	12,067	人			2,334	人
	ツ. 令和6年度増加分の実績値	3,068	人	4	品目	19,811	人			72,492	人
	テ. KPI増加分の累計(実績)	13,699	人	27	品目	77,051	人			114,674	人
ナ. 実績値累計(テ)の目標達成・未達理由(達成または未達になった理由、及び未達の場合は今後の解決策(案))	健康づくりに取り組む人数は年々増加しているものの、累計目標の達成とはならなかった。今後は、住民にとって身近なメディアを活用して、運動習慣の定着と運動量増加に向けた啓発に取り組む。		綿密な分析計画に基づき、大字等との連携により対象農産物の健康に関わる成分分析のデータ確保を実現。エビデンスに基づく(データを活用した)販売PRにつなげることができた。		県や市町村等を実施主体としたイベント等が複数開催され、利用者は増えてきている。今後は更なる利用拡大に向けて普及促進を図るため、県内市町村や保険者に活用を促していく。				群馬県、前橋市、JRと協力しながら認知度向上や新規利用者獲得のための登録相談会を年間通じて開催した。通勤や通学目的の利用が多くなり、平日の朝夕に利用が集中しているため、収支率改善に新たな層の取り込みを図る。		

有識者コメント	
<p>KPI3について、県民の健康増進および将来の医療費削減を目標とする場合、「G-WALK+」に登録している対象者の平均歩数は重要な指標の一つ。しかし、それ以上に重要なのは、将来病気になるリスクが高い、運動習慣のない方や運動に関心のない方の新規参加の促進である。</p> <p>そのため動機づけとして、ポイントによる抽選商品やアプリ内の「バーチャルウォーキング」などの機能を積極的に周知することが有効。また、もともと歩行数の少ない方が徐々にステップを増やせるよう、前月からの歩行数の伸び率をポイント加算に反映したり、LINEのように複数のグループに参加できる仕組みを導入してコミュニティを広げることが有効と考えられる。</p> <p>一方、KPI2の「Gアラライズ&amp;PRチーム事業」における機能性分析を活用して販売した品目は、令和6年度の増加分や累計で目標値には達していないものの、概ね順調に推移していると評価できる。今後は、県産農畜産物の高付加価値化や販売量増加を目的として、これまでの分析結果を活かした品目のブランディングやPR、生産振興に関わる取組を強化することが求められる。</p>	

# デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）に係る事業評価

## A. 基礎情報

交付対象事業の名称	実績額（総事業費） [単位：円]
Gunma Innovation Top Floorを拠点とした群馬創造革新事業	96,916,674

## B. KPIの設定・成果

ア. 本事業における重要業績評価指標（KPI）の名称		KPI 1			KPI 2			KPI 3			KPI 4			
		当初値	[単位]		当初値	[単位]		当初値	[単位]		当初値	[単位]		
KPIの当初値	オ. 事業実施計画の申請時点	0	件		0	千円		0	本		20	件		
	※事業実施計画上の事業開始前（現時点）をご記載ください。	計測年月			計測年月			計測年月			計測年月			
		令和元	年	月	令和元	年	月	令和元	年	月	令和2	年	3	月
事業実施計画の申請時点での、KPIの目標値設定	（継続事業のみ） キ. 令和2年度増加分	10	件		42,000	千円		450	本		20	件		
	（継続事業のみ） ク. 令和3年度増加分	15	件		27,000	千円		495	本		20	件		
	（継続事業のみ） ク. 令和4年度増加分	16	件		27,000	千円		545	本		20	件		
	（継続事業のみ） コ. 令和5年度増加分	24	件		27,000	千円		545	本		20	件		
	（継続事業のみ） サ. 令和6年度増加分	26	件		35,700	千円		545	本		20	件		
	シ. 上記キ～サの累計（自動表示）	91	件		158,700	千円		2,580	本		100	件		
KPIの実績値	（継続事業のみ） セ. 令和2年度増加分の実績値	1	件		0	千円		1,063	本		34	件		
	（継続事業のみ） ソ. 令和3年度増加分の実績値	26	件		110	千円		1,393	本		37	件		
	（継続事業のみ） タ. 令和4年度増加分の実績値	16	件		40,556	千円		1,269	本		48	件		
	（継続事業のみ） チ. 令和5年度増加分の実績値	17	件		34,653	千円		1,260	本		59	件		
	（継続事業のみ） ツ. 令和6年度増加分の実績値	12	件		43,969	千円		2,067	本		64	件		
	※見込みではなく実績をご記載ください。	目標値に対する達成度合い			目標値に対する達成度合い			目標値に対する達成度合い			目標値に対する達成度合い			
	46	%	④目標値の達成は5割未満	123	%	①目標値を達成	379	%	①目標値を達成	320	%	①目標値を達成		
デ. KPI増加分の累計（実績）	実績値（増分）		[単位]	実績値（増分）		[単位]	実績値（増分）		[単位]	実績値（増分）		[単位]		
	72		件	119,288		千円	7,052		本	242		件		
	目標値に対する達成度合い			目標値に対する達成度合い			目標値に対する達成度合い			目標値に対する達成度合い				
	79	%	②目標値の7割以上達成	75	%	②目標値の7割以上達成	273	%	①目標値を達成	242	%	①目標値を達成		
ナ. 実績値累計（デ）の目標達成・未達理由（達成または未達になった理由、及び未達の場合は今後の解決策（案））	本事業も5年目となり市内での認知が上がり、相談件数が伸びている。			令和2年度～3年度のコロナ禍により、セミナーなどのイベントが実施できず、十分な周知ができなかったため。			ショート動画制作や新たなチャンネル開設に注力した。また、群馬県庁の全所属が各業務内容を紹介する動画を自主制作の上、公開したこと等によるもの。			知事のトップセールスや映像制作インセンティブ補助金の利用促進などにより積極的にロゴを誘致した結果、目標値を達成することができた。				

有識者コメント
<p>前衛的な取り組みを行っている点は評価できるが、今後はさらなるクオリティ強化を目指すことが望ましい。</p> <p>都内からのアクセスの良さを生かし、ロゴ誘致は目標を達成したものの、今後は単に誘致して消費されるだけでなく、地域に還元できる内容へ充実させることが課題である。</p> <p>「くまAgri×NETSUGEN共創事業」は一定の効果も上げた評価できる。一方で、昨今のコモディティ格高騰からわかるように、農業政策は農業経営体だけでなく県民生活にも大きな影響を与える。農業界の構造変革を促すとともに、農業経営体や県民にとって目に見える恩恵につながる、表面的ではない施策が求められる。</p>

# デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）に係る事業評価

## A. 基礎情報

交付対象事業の名称	実績額（総事業費） [単位：円]
始動人輩出のための教育イノベーション	77,722,654

## B. KPIの設定・成果

ア. 本事業における 重要業績評価指標（KPI）の名称	オ. 事業実施計画の 申請時点 <small>※事業実施計画上の事業開始期 （現時点）より記載ください。</small>	KPI1				KPI2				KPI3				KPI4			
		官民共創コミュニティから生まれた 共創の取組件数		地域CTクラブ等で講座を受講した 児童の数		「中高生の新たな学びの拠点」利用率 （1日のピーク時の利用率の年間平均）		中高生向け課題解決型学習プログラム 修了者									
KPIの 当初値	当初値	[単位]	当初値	[単位]	当初値	[単位]	当初値	[単位]	当初値	[単位]	当初値	[単位]	当初値	[単位]			
	0	件	0	人	0	%	0	人									
計測年月		計測年月		計測年月		計測年月											
2022 年 3 月		2022 年 3 月		2022 年 3 月		2022 年 3 月											
事業実施 計画の 申請時点 での、 KPIの 目標値設定	（継続事業のみ） キ. 令和2年度増加分	目標値（増分）	[単位]	目標値（増分）	[単位]	目標値（増分）	[単位]	目標値（増分）	[単位]								
	（継続事業のみ） ク. 令和3年度増加分		件		人		%		人								
	（継続事業のみ） ク. 令和4年度増加分	15	件	400	人		%	10	人								
	（継続事業のみ） コ. 令和5年度増加分	16	件	50	人	0.4	%	10	人								
	シ. 令和6年度増加分	11	件	60	人	1.1	%	21	人								
シ. 上記キ～サの累計 （自動表示）	目標値（増分）	[単位]	目標値（増分）	[単位]	目標値（増分）	[単位]	目標値（増分）	[単位]									
	42	件	510	人	1.5	%	41	人									
KPIの 実績値 <small>※見込みではなく実績 をご記載ください。</small>	（継続事業のみ） セ. 令和2年度増加分の実績値	実績値（増分）	[単位]	実績値（増分）	[単位]	実績値（増分）	[単位]	実績値（増分）	[単位]								
	（継続事業のみ） ソ. 令和3年度増加分の実績値		件		人		%		人								
	（継続事業のみ） タ. 令和4年度増加分の実績値	18	件	436	人	0	%	24	人								
	（継続事業のみ） チ. 令和5年度増加分の実績値	21	件	38	人	0	%	27	人								
	（継続事業のみ） ツ. 令和6年度増加分の実績値	11	件	97	人	0	%	24	人								
	目標値に対する達成度合い	100 %	①目標値を達成	162 %	①目標値を達成	0 %	④目標値の達成は5割未満	114 %	①目標値を達成								
	実績値（増分）	[単位]	実績値（増分）	[単位]	実績値（増分）	[単位]	実績値（増分）	[単位]									
50	件	571	人	0	%	75	人										
テ. KPI増加分の累計 （実績）	目標値に対する達成度合い	119 %	①目標値を達成	112 %	①目標値を達成	0 %	④目標値の達成は5割未満	183 %	①目標値を達成								
ナ. 実績値累計（テ）の 目標達成・未達理由 （達成または未達になった理由、及び未達の場合 は今後の解決策（案））	官民共創コミュニティ育成を目的としたワークショップをこれまで4年間に渡り実施し、ワークショップで発案されたアイデア実装を実装化させることができたことと、実装化により取組が県内で広く展開されたことなどが挙げられる。				開催地域や施設規模等を考慮のうえ県内5か所の学習クラブで開催したことにより、順調に受講者を増やすことができました。				事業実施に向け、複数回にわたり、実施予定の市と協議を重ねたが、適切な事業実施場所の選定が難しいこと等の理由から、協働実施について合意に至らなかったため、事業中止となった。				令和2年度から実施の事業のため、県内各機関とのつながりがしっかりとあり、プログラムを円滑に進行できたため。				

### 有識者コメント

カンファレンスイベントについて、理念や規範を語るだけでなく、地方の現状に精通し、できれば実践経験のある方によるトークセッションがあると、より充実した内容になると感じる。イベントへのリピーターの数や、観光客ではなくこのイベントを自当てに参加した人の割合など、アウトカムを基にした冷静な評価も重要である。SEL教育の実施については、今後の展開を見守りたい。デジタル化やデジタル人材育成については、順調に進んでいると評価できる。

# デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）に係る事業評価

## A. 基礎情報

交付対象事業の名称	実績額（総事業費） [単位：円]
快楽なくま実現プロジェクト	58,766,719

## B. KPIの設定・成果

ア. 本事業における重要業績評価指標（KPI）の名称		KPI 1		KPI 2		KPI 3		KPI 4					
		当初値	[単位]	当初値	[単位]	当初値	[単位]	当初値	[単位]				
KPIの当初値	オ. 事業実施計画の申請時点	-459	人	11	団体	0	回	0	人				
	※事業実施計画上の事業開始前（現時点）をご記載ください。	計測年月		計測年月		計測年月		計測年月					
		令和3	年	令和3	年	令和3	年	令和3	年				
事業実施計画の申請時点でのKPIの目標値設定	（継続事業のみ）	目標値（増分）	[単位]	目標値（増分）	[単位]	目標値（増分）	[単位]	目標値（増分）	[単位]				
	キ. 令和2年度増加分		人		団体		回		人				
	（継続事業のみ）		人		団体		回		人				
	ク. 令和3年度増加分		人		団体		回		人				
	（継続事業のみ）	459	人	2	団体	1,000	回	40	人				
	ケ. 令和4年度増加分		人		団体		回		人				
（継続事業のみ）	250	人	2	団体	1,000	回	40	人					
コ. 令和5年度増加分		人		団体		回		人					
（継続事業のみ）	270	人	4	団体	1,000	回	40	人					
サ. 令和6年度増加分		人		団体		回		人					
シ. 上記キ～サの累計（自動表示）	目標値（増分）	979	人	目標値（増分）	8	団体	目標値（増分）	3,000	回	目標値（増分）	120	人	
KPIの実績値	（継続事業のみ）	実績値（増分）	[単位]	実績値（増分）	[単位]	実績値（増分）	[単位]	実績値（増分）	[単位]				
	セ. 令和2年度増加分の実績値		人		団体		回		人				
	（継続事業のみ）		人		団体		回		人				
	ソ. 令和3年度増加分の実績値		人		団体		回		人				
	（継続事業のみ）	1,591	人	1	団体	11,201	回	38	人				
	タ. 令和4年度増加分の実績値		人		団体		回		人				
（継続事業のみ）	2,873	人	4	団体	21,545	回	203	人					
チ. 令和5年度増加分の実績値		人		団体		回		人					
（継続事業のみ）	1,763	人	1	団体	58,209	回	153	人					
ツ. 令和6年度増加分の実績値		人		団体		回		人					
テ. KPI増加分の累計（実績）	目標値に対する達成度合い	653	%	① 目標値を達成	25	%	④ 目標値の達成は5割未満	5,821	%	① 目標値を達成	383	%	① 目標値を達成
	実績値（増分）	6,227	人	実績値（増分）	6	団体	実績値（増分）	90,955	回	実績値（増分）	394	人	
	目標値に対する達成度合い	636	%	① 目標値を達成	75	%	② 目標値の7割以上達成	3,032	%	① 目標値を達成	328	%	① 目標値を達成
ナ. 実績値累計（テ）の目標達成・未達理由（達成または未達になった理由、及び未達の場合は今後の解決策（案））	県内市町村等と連携した移住セミナーや相談会の開催、情報発信等により、移住希望地ランキング1位となったほか、本県への移住者数は過去最多（令和5年度）となり、転入者数増加に効果があったと考えられる。	地域の移住支援者を養成する研修の開催や、情報共有、意見交換を行う場の提供等により、移住コーディネーターの役割や設置に対する理解が深まり、設置市町村数の増加に効果があったと考えられる。	ターゲットを絞り込んだサイクルイベントの開催にあたり、SNSでイベントを告知してサイトへの誘導を図った。また、イベント開催により、高難易度のコースを求める層に対して、当地域の認知度が上がってきたものと考えられる。	一般及び企業団体向け、群大医学部生向け講座により、幅広い業種を対象とすることで目標値より実績値が上回った。地域、医療、労働の各分野においてやさしい日本語を普及推進し、目標を達成できた。									

有識者コメント	
<p>林業従事者の就業支援として研修等を実施しているものの、受講者数は低水準で、従事者数も減少傾向にある。森林資源を持続的に維持・活用するためには、皆伐後の再造林の推進や素材生産量の増加が必要であり、そのためには林業従事者の確保が不可欠である。</p> <p>今後も林業従事者を確保するため、就業支援研修の継続に加え、受講者数の確保を目的とした事業規模の拡大や異業種との連携など、対策の強化が求められる。</p> <p>一方、移住に関しては、移住希望地ランキングで1位となり、移住者数が増加している点は評価できる。今後も「選ばれる地域」であり続けるためには、さらなる「受け皿」の整備が重要である。具体的には、移住者や外国人の受け入れ時の仲介役の設置や、群馬で暮らすための住宅整備（空き家対策）などへの取り組みを一層強化する必要がある。また、魅力的な街並みづくりのための官民共創も重要であり、ハード面での整備が進んでいる地域ほど、人々に選ばれやすいと考えられる。</p>	

# デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）に係る事業評価

## A. 基礎情報

交付対象事業の名称 イベント産業の振興による地域活性化事業	実績額（総事業費） [単位：円] 18,930,000
----------------------------------	--------------------------------

## B. KPIの設定・成果

ア. 本事業における重要業績評価指標(KPI)の名称		KPI1		KPI2		KPI3		KPI4				
		当初値	[単位]	当初値	[単位]	当初値	[単位]	当初値	[単位]			
KPIの当初値	オ. 事業実施計画の申請時点 <small>※事業実施計画上の事業開始期(現時点)より記載ください。</small>	0	人	29	件	40	件	1	件			
	計測年月	令和3	年	月	令和3	年	月	令和3	年	月		
事業実施計画の申請時点での、KPIの目標値設定	エ. 令和2年度増加分	目標値 (増分)	[単位]	目標値 (増分)	[単位]	目標値 (増分)	[単位]	目標値 (増分)	[単位]			
	ケ. 令和3年度増加分		人		件		件		件			
	ク. 令和4年度増加分	10,150	人	21	件	5	件	6	件			
	コ. 令和5年度増加分	12,750	人	5	件	5	件	2	件			
	サ. 令和6年度増加分	13,450	人	5	件	5	件	1	件			
シ. 上記エ～サの累計 (自動表示)	目標値 (増分)	[単位]	36,350	人	目標値 (増分)	[単位]	15	件	目標値 (増分)	[単位]	9	件
KPIの実績値 <small>※見込みではなく実績をご記載ください。</small>	セ. 令和2年度増加分の実績値	実績値 (増分)	[単位]	実績値 (増分)	[単位]	実績値 (増分)	[単位]	実績値 (増分)	[単位]			
	ソ. 令和3年度増加分の実績値		人		件		件		件			
	タ. 令和4年度増加分の実績値	38,140	人	40	件	11	件	6	件			
	チ. 令和5年度増加分の実績値	865	人	7	件	0	件	4	件			
	ツ. 令和6年度増加分の実績値	46,985	人	9	件	0	件	1	件			
	テ. KPI増加分の累計 (実績)	実績値 (増分)	[単位]	85,990	人	実績値 (増分)	[単位]	11	件	実績値 (増分)	[単位]	11
ナ. 実績値累計(テ)の目標達成・未達理由 (達成または未達になった理由、及び未達の場合は今後の解決策(案))	目標値に対する達成度合い	349 %	①目標値を達成	180 %	①目標値を達成	0 %	④目標値の達成は5割未満	100 %	①目標値を達成			
	目標値に対する達成度合い	237 %	①目標値を達成	181 %	①目標値を達成	73 %	②目標値の7割以上達成	122 %	①目標値を達成			
		Gメッセ群馬指定管理者やコンベンションビューローと連携して、県内外の様々な主催者に対し誘致・開催支援を実施し、多くの方にイベントへの関心を持っていただくことができ、目標を達成することができた。		Gメッセ群馬指定管理者やコンベンションビューローと連携して、県内外の様々な主催者に対し誘致・開催支援を実施した。		1件1件丁寧に対応したため、マッチング支援数は伸び悩んだ。業務効率化を図るため、マッチングツールの見直しを検討する。		県内各プロスポーツチームに協力いただき、目標を達成することができた。				

有識者コメント
MIC誘致の推進や、TUMO Gunmaの設置による機能強化などにより、Gメッセの有効活用を進め、交流人口の増加に取り組んでいる点は評価できる。また、掲げた目標を達成できたことも成果として認められる。引き続き、参加者が充足感を得られる企画を継続して行うことが重要である。一方で、コンベンションパートナーの伸び悩みや、群馬会館での寸劇、くま三犬梅林プロモーション、ザスバ群馬のバブリックビューイングなどのイベントは、規模やインバウトの面でやや限定的であり、地域活性化という目標に対する効果は十分とは言えない。今後は、新たなイベントの誘致や創出が課題であると考えられる。

# デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）に係る事業評価

## A. 基礎情報

交付対象事業の名称 未来へ訪ぐ！持続可能な農業・農村の確立	実績額（総事業費） [単位：円] 47,088,255
----------------------------------	--------------------------------

## B. KPIの設定・成果

ア. 本事業における重要業績評価指標（KPI）の名称		KPI 1	KPI 2	KPI 3	KPI 4
<b>KPIの当初値</b>	オ. 事業実施計画の申請時点 <small>※事業実施計画上の事業開始前（現時点）をご記載ください。</small>	農業産出額 当初値 [単位] 2,361 億円 計測年月 令和3 年 月	本事業の担い手確保による新規就農者数（45歳未満） 当初値 [単位] 222 人 計測年月 令和3 年 月	本事業の試験研究・実証による新品種・新技術の開発件数 当初値 [単位] 0 件 計測年月 令和3 年 月	施設園芸における環境制御技術導入農家数 当初値 [単位] 124 戸 計測年月 令和3 年 月
事業実施計画の申請時点での、 <b>KPIの目標値設定</b>	キ. (継続事業のみ) 令和2年度増加分	目標値 (増分) [単位] 億円	目標値 (増分) [単位] 人	目標値 (増分) [単位] 件	目標値 (増分) [単位] 戸
	ク. (継続事業のみ) 令和3年度増加分	目標値 (増分) [単位] 億円	目標値 (増分) [単位] 人	目標値 (増分) [単位] 件	目標値 (増分) [単位] 戸
	ク. (継続事業のみ) 令和4年度増加分	40.0 億円	170 人	2 件	7 戸
	コ. (継続事業のみ) 令和5年度増加分	40.0 億円	170 人	5 件	10 戸
	サ. 令和6年度増加分	40.5 億円	175 人	9 件	12 戸
	シ. 上記キ～サの累計 (自動表示)	目標値 (増分) [単位] 120.5 億円	目標値 (増分) [単位] 515 人	目標値 (増分) [単位] 16 件	目標値 (増分) [単位] 29 戸
KPIの実績値 <small>※見込みではなく実績をご記載ください。</small>	セ. (継続事業のみ) 令和2年度増加分の実績値	実績値 (増分) [単位] 億円	実績値 (増分) [単位] 人	実績値 (増分) [単位] 件	実績値 (増分) [単位] 戸
	ソ. (継続事業のみ) 令和3年度増加分の実績値	実績値 (増分) [単位] 億円	実績値 (増分) [単位] 人	実績値 (増分) [単位] 件	実績値 (増分) [単位] 戸
	タ. (継続事業のみ) 令和4年度増加分の実績値	69 億円	187 人	1 件	29 戸
	チ. (継続事業のみ) 令和5年度増加分の実績値	182 億円	174 人	7 件	5 戸
	ツ. 令和6年度増加分の実績値	- 億円	178 人	8 件	0 戸
	テ. KPI増加分の累計 (実績)	実績値 (増分) [単位] 251 億円 目標値に対する達成度合い 0 %	実績値 (増分) [単位] 539 人 目標値に対する達成度合い 102 % ①目標値を達成	実績値 (増分) [単位] 16 件 目標値に対する達成度合い 89 % ②目標値の7割以上達成	実績値 (増分) [単位] 34 戸 目標値に対する達成度合い 0 % ④目標値の達成は5割未満
ナ. 実績値累計（テ）の目標達成・未達理由 (達成または未達になった理由、及び未達の場合は今後の解決策（案）)	生産基盤整備、生産性の向上、農産物の高付加価値化等に関する各種施策を総合的に進めたこと、野菜等の価格上昇などの要因も重なったことで、累計目標値を達成した。 (令和6年度実績は令和8年3月公表予定)		就農情報発信や就農相談窓口の整備、強化により就農相談件数が増加し、さらに適正判断や就農準備のための研修を充実したことで目標を達成した。	目標を見据えた課題設計と試験実施が効果的に行われたため。	環境制御技術の導入は年度目標より前倒して進み、累計目標を達成した。今後も継続して導入推進を図る。

### 有識者コメント

KPIの達成状況を見ると、令和6年度の増加分ではKPIごとにばらつきがあるものの、増加分の累計ではすべてのKPIで目標値を達成しており、着実な取り組みが評価できる。単年度で未集計のKPIがあるものの、累計では十分な事業効果が認められる。農業産出額のKPIは目標を達成しており、3か年という短期間で出たのは良好である。重要なのは、これを長期間の基調として継続していくことであり、今後も注力が求められる。また、どの分野が伸びるかに着目するのではなく、伸ばせる分野を分析し、力点を置き方を検討することも大切である。新規就農者の定着や次世代農業人材の獲得に向けては、就農相談などを積極的かつきめ細やかに実施するとともに、広報・PRの強化も期待される。引き続き、持続可能な農業・農村の確立に向けた幅広い施策を効果的に展開し、伴走型のきめ細やかな支援を継続してほしい。



# デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）に係る事業評価

## A. 基礎情報

交付対象事業の名称	実績額（総事業費） [単位：円]
多様な交流が生み出す地域の活性化	83,203,075

## B. KPIの設定・成果

ア. 本事業における重要業績評価指標(KPI)の名称		KPI 1		KPI 2		KPI 3		KPI 4	
		当初値	[単位]	当初値	[単位]	当初値	[単位]	当初値	[単位]
KPIの当初値	オ. 事業実施計画の申請時点	329.80	万円	0	人	0	件	0	件
	※事業実施計画上の事業開始前（現時点）をご記載ください。	計測年月	計測年月	計測年月	計測年月	計測年月	計測年月	計測年月	計測年月
		令和2年		令和5年	3月	令和5年	3月	令和5年	3月
事業実施計画の申請時点でのKPIの目標値設定	キ. (継続事業のみ) 令和2年度増加分	目標値 (増分)	[単位]	目標値 (増分)	[単位]	目標値 (増分)	[単位]	目標値 (増分)	[単位]
	ク. (継続事業のみ) 令和3年度増加分		万円		人		件		件
	ク. (継続事業のみ) 令和4年度増加分		万円		人		件		件
	コ. (継続事業のみ) 令和5年度増加分	10.20	万円	10,000	人	52	件	100	件
	サ. 令和6年度増加分	10.00	万円	20,000	人	57	件	20	件
	シ. 上記キ～サの累計 (自動表示)	目標値 (増分)	[単位]	目標値 (増分)	[単位]	目標値 (増分)	[単位]	目標値 (増分)	[単位]
		20.20	万円	30,000	人	109	件	120	件
KPIの実績値	セ. (継続事業のみ) 令和2年度増加分の実績値	実績値 (増分)	[単位]	実績値 (増分)	[単位]	実績値 (増分)	[単位]	実績値 (増分)	[単位]
	ソ. (継続事業のみ) 令和3年度増加分の実績値		万円		人		件		件
	タ. (継続事業のみ) 令和4年度増加分の実績値		万円		人		件		件
	チ. (継続事業のみ) 令和5年度増加分の実績値	-11.10	万円	140,710	人	151	件	177	件
	ツ. 令和6年度増加分の実績値	-	万円	43,436	人	278	件	397	件
	テ. KPI増加分の累計 (実績)	実績値 (増分)	[単位]	実績値 (増分)	[単位]	実績値 (増分)	[単位]	実績値 (増分)	[単位]
		#VALUE!	万円	184,146	人	429	件	574	件
		目標値に対する達成度合い		目標値に対する達成度合い		目標値に対する達成度合い		目標値に対する達成度合い	
		#VALUE! %		217 %	①目標値を達成	488 %	①目標値を達成	1,985 %	①目標値を達成
		実績値 (増分)	[単位]	実績値 (増分)	[単位]	実績値 (増分)	[単位]	実績値 (増分)	[単位]
		#VALUE!	万円	614	①目標値を達成	394	①目標値を達成	478	①目標値を達成
		目標値に対する達成度合い		目標値に対する達成度合い		目標値に対する達成度合い		目標値に対する達成度合い	
		#VALUE! %		614 %	①目標値を達成	394 %	①目標値を達成	478 %	①目標値を達成
ナ. 実績値累計(テ)の目標達成・未達理由 (達成または未達になった理由、及び未達の場合は今後の解決策(案))	令和6年度実績値は令和8年2月公表予定。	毎月3回以上の自主企画イベント実施に加えて、日常的にSNSや新聞等を活用した施設PRやイベント開催の情報発信等により来場者数増につながった。	専用HPやSNS、新聞等を活用した日常的な施設PR、イベント開催等の情報発信を行い認知度向上と利用拡大につながる広報を実施することができた。	常駐のコミュニティマネージャーを中心に利用者とのコミュニケーションを図ることで、ユーザーニーズを捉えることができ、マルシェ&キッチンへの出店が増加した。その結果、集客力のあるイベントの定期開催及びリピーターの獲得につながっている。					

有識者コメント	
<p>マルシェ&amp;キッチンや広報部門を外部に委託することで、情報発信の量が増え、県庁舎31階への来場者数の増加につながっている。今後も民間のノウハウを活用し、継続的な取組を期待する。</p> <p>また、利用者の拡大が見込めるイベントを定期的実施することで、県庁舎31階のにぎわい創出や利用者間のコミュニティ形成が促進されることが期待される。県庁舎31階運営は、県民や群馬ファンの交流の場としてさらに認知が高まるよう、引き続き創意工夫を凝らした情報発信が重要である。</p> <p>さらに、情報発信に関連して、群馬県の評価を損なうような第三者によるフェイクニュースやデマの流布を防ぐための対策にも注力する必要がある。</p>	

# デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）に係る事業評価

## A. 基礎情報

交付対象事業の名称	実績額（総事業費） [単位：円]
ぐんまブランドのワールドワイド推進	40,359,338

## B. KPIの設定・成果

ア. 本事業における重要業績評価指標（KPI）の名称		KPI 1		KPI 2		KPI 3		KPI 4								
		当初値	[単位]	当初値	[単位]	当初値	[単位]	当初値	[単位]							
KPIの当初値	オ. 事業実施計画の申請時点 <small>※事業実施計画上の事業開始前（現時点）をご記載ください。</small>	40,587	千人	259	ha	81	店舗	14.9	億円							
		計測年月 令和5 年 3 月		計測年月 令和5 年 3 月		計測年月 令和5 年 3 月		計測年月 令和5 年 3 月								
事業実施計画の申請時点での、KPIの目標値設定	キ. (継続事業のみ) 令和2年度増加分	目標値 (増分)	[単位]	目標値 (増分)	[単位]	目標値 (増分)	[単位]	目標値 (増分)	[単位]							
	ク. (継続事業のみ) 令和3年度増加分		千人		ha		店舗		億円							
	ク. (継続事業のみ) 令和4年度増加分		千人		ha		店舗		億円							
	コ. (継続事業のみ) 令和5年度増加分	5,052	千人	34	ha	6	店舗	1.1	億円							
	サ. 令和6年度増加分	5,100	千人	19	ha	7	店舗	2.1	億円							
	シ. 上記キ～サの累計 (自動表示)	目標値 (増分)	[単位]	10,152	千人	目標値 (増分)	[単位]	53	ha	目標値 (増分)	[単位]	13	店舗	目標値 (増分)	[単位]	3.2
KPIの実績値 <small>※見込みではなく実績をご記載ください。</small>	セ. (継続事業のみ) 令和2年度増加分の実績値	実績値 (増分)	[単位]	実績値 (増分)	[単位]	実績値 (増分)	[単位]	実績値 (増分)	[単位]							
	ソ. (継続事業のみ) 令和3年度増加分の実績値		千人		ha		店舗		億円							
	タ. (継続事業のみ) 令和4年度増加分の実績値		千人		ha		店舗		億円							
	チ. (継続事業のみ) 令和5年度増加分の実績値	11,482	千人	15	ha	3	店舗	0.5	億円							
	ツ. 令和6年度増加分の実績値	10,834	千人	令和8年8月 確定予定	ha	14	店舗	3.2	億円							
	テ. KPI増加分の累計 (実績)	実績値 (増分)	[単位]	22,316	千人	実績値 (増分)	[単位]	#VALUE!	ha	実績値 (増分)	[単位]	17	店舗	実績値 (増分)	[単位]	3.7
ナ. 実績値累計 (テ) の目標達成・未達理由 (達成または未達になった理由、及び未達の場合は今後の解決策 (案))		入込客数は、前年から約20%増加し、新型コロナウイルス感染拡大前の令和元年と同水準まで回復した。 旅行者をさらに呼び込むため、プロモーションや多様なニーズに対応した市場開拓支援を行う。		令和8年8月に実績確定予定		コロナ禍後の消費回復の中で、群馬県産農畜産物を意識的に扱い、地産地消をセールスポイントとする小売店、飲食店、宿泊施設、惣菜店等の増加が考えられる。		北米向け牛肉輸出の増加や、こんにゃく加工品の健康食品としての認知度向上による輸出増加により、前年の実績を上回った。								
		目標値に対する達成度合い		目標値に対する達成度合い		目標値に対する達成度合い		目標値に対する達成度合い								
		212	%	① 目標値を達成	#VALUE!	%		200	%	① 目標値を達成	152	%	① 目標値を達成			
		実績値 (増分)	[単位]	実績値 (増分)	[単位]	実績値 (増分)	[単位]	実績値 (増分)	[単位]							
		220	%	① 目標値を達成	#VALUE!	%		131	%	① 目標値を達成	116	%	① 目標値を達成			

### 有識者コメント

令和6年度においては、実績値が未定のKPIを除き、累計ともに目標値を達成しており、着実な取組みが評価できる。交付金事業では、ブランド化に向けた連携推進について、地方創生への効果が不十分として事業を中止した事例がある。今後は、会議体や機能の重複の解消、事業効果に応じた見直しも必要である。

観光分野については、群馬ブームとも言える好況が続いており、この流れを途切れさせないよう、継続的な注視と取組が求められる。

農産物輸出は順調に拡大しているが、米関税などの影響を注視する必要がある。今後は、必要に応じて追加の支援策を策定することも検討すべきである。

# デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）に係る事業評価

## A. 基礎情報

交付対象事業の名称	実績額（総事業費） [単位：円]
文化資源を軸とした観光振興・地域活性化推進事業	25,212,000

## B. KPIの設定・成果

ア. 本事業における重要業績評価指標（KPI）の名称		KPI 1		KPI 2		KPI 3		KPI 4	
		当初値	[単位]	当初値	[単位]	当初値	[単位]	当初値	[単位]
KPIの当初値	オ. 事業実施計画の申請時点	40,587	人	307,000	人	0	人	78	点
	※事業実施計画上の事業開始前（現時点）をご記載ください。	計測年月	計測年月	計測年月	計測年月	計測年月	計測年月	計測年月	計測年月
		令和5	年 3 月	令和5	年 3 月	令和5	年 3 月	令和5	年 3 月
事業実施計画の申請時点での、KPIの目標値設定	キ. (継続事業のみ) 令和2年度増加分	目標値 (増分)	[単位]	目標値 (増分)	[単位]	目標値 (増分)	[単位]	目標値 (増分)	[単位]
	ク. (継続事業のみ) 令和3年度増加分		人		人		人		点
	ク. (継続事業のみ) 令和4年度増加分		人		人		人		点
	コ. (継続事業のみ) 令和5年度増加分	10,000	人	5,000	人	6,000	人	724	点
	サ. 令和6年度増加分	10,000	人	5,000	人	6,000	人	1,700	点
	シ. 上記キ～サの累計 (自動表示)	目標値 (増分)	[単位]	目標値 (増分)	[単位]	目標値 (増分)	[単位]	目標値 (増分)	[単位]
		20,000	人	10,000	人	12,000	人	2424	点
KPIの実績値	セ. (継続事業のみ) 令和2年度増加分の実績値	実績値 (増分)	[単位]	実績値 (増分)	[単位]	実績値 (増分)	[単位]	実績値 (増分)	[単位]
	ソ. (継続事業のみ) 令和3年度増加分の実績値		人		人		人		点
	タ. (継続事業のみ) 令和4年度増加分の実績値		人		人		人		点
	チ. (継続事業のみ) 令和5年度増加分の実績値	11,482	人	193,093	人	3,600	人	2,254	点
	ツ. 令和6年度増加分の実績値	10,834	人	-56,837	人	-579	人	2,156	点
	※見込みではなく実績をご記載ください。	目標値に対する達成度合い	目標値に対する達成度合い	目標値に対する達成度合い	目標値に対する達成度合い	目標値に対する達成度合い	目標値に対する達成度合い	目標値に対する達成度合い	目標値に対する達成度合い
	108 % ① 目標値を達成	-1137 % ④ 目標値の達成は5割未満	-10 % ④ 目標値の達成は5割未満	127 % ① 目標値を達成					
デ. KPI増加分の累計 (実績)	実績値 (増分)	[単位]	実績値 (増分)	[単位]	実績値 (増分)	[単位]	実績値 (増分)	[単位]	
	22,316	人	136,256	人	3,021	人	4,410	点	
	目標値に対する達成度合い	目標値に対する達成度合い	目標値に対する達成度合い	目標値に対する達成度合い	目標値に対する達成度合い	目標値に対する達成度合い	目標値に対する達成度合い	目標値に対する達成度合い	
	112 % ① 目標値を達成	1,363 % ① 目標値を達成	25 % ④ 目標値の達成は5割未満	182 % ① 目標値を達成					
ナ. 実績値累計 (デ) の目標達成・未達理由 (達成または未達になった理由、及び未達の場合は今後の解決策 (案))	入込客数は、前年から約20%増加し、新型コロナウイルス感染拡大前の令和元年と同水準まで回復した。 旅行者をさらに呼び込むため、プロモーションや多様なニーズに対応した市場開拓支援を行う。		令和6年度の入館者数は減少したものの、県民ニーズを捉え、時期に合った企画展を開催したことが、累計として大きな入館者増につながった。		さらなる観覧者数の増加を目指し、次年度は、イベントを複数箇所で開催し、汎用性の高いコンテンツを検討する。		美術館・博物館と連携し、デジタル化に適した作品を選定のうえ、計画どおりの数をアーカイブ化した。		

有識者コメント	
群馬県は面積が広く、地域間の移動に時間がかかるため、収蔵物をデジタルで遠隔閲覧できる仕組みの整備と推進は今後不可欠。ただし、デジタル閲覧だけで終わらず、実物鑑賞へ誘導する仕掛けを併せて検討することが重要。 MRツールを使ったデジタルコンテンツの提供については、前橋市中心商店街に限らず、人流の多いエリアや県内各地域への展開可能性を検討すべき。これにより利用機会の公平性と認知度向上が期待できる。 県立図書館の電子書籍サービス「KinoDen」は認知度が低い。教育機関や公民館など、読書ニーズが高い施設での周知強化が必要。ただし、利用者増加に伴うコスト増大の懸念もあるため、利用促進と財政負担のバランスを踏まえた運用方針の策定が求められる。	

# デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）に係る事業評価

## A. 基礎情報

交付対象事業の名称	実績額（総事業費）【単位：円】
日本最先端クラスのデジタル県推進事業	88,058,000

## B. KPIの設定・成果

ア. 本事業における重要業績評価指標（KPI）の名称	KPI1				KPI2				KPI3				KPI4			
	当初値	【単位】			当初値	【単位】			当初値	【単位】			当初値	【単位】		
KPIの当初値	1,600	人			0	社			0	件			0	人		
	計測年月				計測年月				計測年月				計測年月			
	令和5	年	12	月	令和5	年	12	月	令和5	年	12	月	令和5	年	12	月

事業実施計画の申請時点でのKPIの目標値設定	KPI1		KPI2		KPI3		KPI4	
	目標値（増分）	【単位】	目標値（増分）	【単位】	目標値（増分）	【単位】	目標値（増分）	【単位】
キ. 令和2年度増加分		人		社		件		人
ク. 令和3年度増加分		人		社		件		人
ク. 令和4年度増加分		人		社		件		人
コ. 令和5年度増加分		人		社		件		人
サ. 令和6年度増加分	1,800	人	4	社	6	件	0	人
シ. 上記キ～サの累計（自動表示）	1,800	人	4	社	6	件		人

KPIの実績値	実績値（増分）		実績値（増分）		実績値（増分）		実績値（増分）	
	実績値（増分）	【単位】	実績値（増分）	【単位】	実績値（増分）	【単位】	実績値（増分）	【単位】
セ. 令和2年度増加分の実績値		人		社		件		人
ソ. 令和3年度増加分の実績値		人		社		件		人
タ. 令和4年度増加分の実績値		人		社		件		人
チ. 令和5年度増加分の実績値		人		社		件		人
ツ. 令和6年度増加分の実績値	1,674	人	1	社	10	件	2,027	人
	目標値に対する達成度合い		目標値に対する達成度合い		目標値に対する達成度合い		目標値に対する達成度合い	
	93 %	②目標値の7割以上達成	25 %	④目標値の達成は5割未満	167 %	①目標値を達成	- %	①目標値を達成
テ. KPI増加分の累計（実績）	1,674	人	1	社	10	件	2,027	人
	目標値に対する達成度合い		目標値に対する達成度合い		目標値に対する達成度合い		目標値に対する達成度合い	
	93 %	②目標値の7割以上達成	25 %	④目標値の達成は5割未満	167 %	①目標値を達成	- %	①目標値を達成

ナ. 実績値累計（テ）の目標達成・未達理由（達成または未達になった理由、及び未達の場合は今後の解決策（案））	市場状況として、大手企業や都市部への就職志向が高いことなどから、目標に届いていない。 首都圏の大学や県内高校との連携を継続しつつ、デジタルクリエイティブ産業の創出に取り組む。魅力的な就職先を発信・誘致することで、Uターン就職の増加を図る。	群馬県が有している企業誘致における他自治体への優位性（交通アクセスや地価の安さ、災害リスクの低さ等）がクリエイティブ企業誘致では強みとならないため、目標達成に至らなかった。 しかし、クリエイティブ業界は慢性的な人材不足（質・量）であることから、人材を供給することで価値を提供でき、企業誘致につながることを確認できた。そこで、今年度は新たに、クリエイティブ企業、専門学校、県の3者で連携し、より実践的な人材の育成や県内への企業集積につながるよう、特別講座や合同企業説明会等を行う予定である。	異業種連携・官民共創を目的とした各種事業を実施することで、ビジネス実証を目指す多くの方に事業を活用いただいた。	令和6年度はTUMO Gunmaの供用開始前であったため、年間利用者数については目標値を設定していない。したがって、TUMO Gunmaの年間利用者数はゼロである。なお、桐生市サテライト（tsukurun kiryu）では、利用者ニーズを踏まえた講座実施により利用者の増加が見られ、目標値設定はないものの、良好な事業実施状況であった。
--	--	---	---	---

有識者コメント
群馬県では、デジタルクリエイティブ人材の育成環境整備が進んでおり、アジア初となるTUMOの誘致や、県内におけるtsukurunサテライト拠点の整備などがその一例である。これにより、デジタルクリエイティブ企業の県内進出が促進される好循環が生まれつつあると推測される。今後も、育成・供給・活用のエコシステムを構築する取り組みが重要である。G×セ群馬は、交通アクセスに優れた立地を活かし、TUMO Gunmaとしてデジタルクリエイティブ人材を育成する拠点に最適である。令和7年7月に開所したことにより、今後の発展が期待される。運営にあたっては、利用者ニーズを反映させた施設コーディネートを行い、充実した環境を提供することが重要である。長期的には、切磋琢磨できる人材の育成が群馬県の比較競争優位性を高め、企業誘致や起業の可能性を広げると考えられる。短期的には、群馬の地域性を活かした事業を県内若手と連携して実施することが有効である。 KPIの達成状況については、③「共創プロジェクト組成年」が目標値を大幅に上回り、本事業の有効性が確認された。一方、①「地域へのUターン就職者数」は目標に未達である。デジタルクリエイティブ産業の創出に取り組むとともに、魅力的な就職先を発信・誘致することで、Uターン就職者の増加が期待される。なお、クリエイティブ人材は慢性的に不足しているため、育成した人材が県外に流出するリスクもある。奨学金制度や県内の人材を活かした企業誘致など、有機的な施策展開により県内で人材が活躍できる環境を整備することが望ましい。

# デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）に係る事業評価

## A. 基礎情報

交付対象事業の名称	実績額（総事業費） [単位：円]
県民総活躍の未来をつくる若手人材の確保・育成事業	63,938,602

## B. KPIの設定・成果

ア. 本事業における重要業績評価指標(KPI)の名称		KPI 1		KPI 2		KPI 3		KPI 4	
		当初値	[単位]	当初値	[単位]	当初値	[単位]	当初値	[単位]
KPIの当初値	オ. 事業実施計画の申請時点	1,600	人	0	人	7.2	%	0	件
	※事業実施計画上の事業開始前(現時点)をご記載ください。	計測年月		計測年月		計測年月		計測年月	
		令和5年12月		令和5年12月		令和5年12月		令和5年12月	

事業実施計画の申請時点でのKPIの目標値設定	目標値(増分)	[単位]	目標値(増分)	[単位]	目標値(増分)	[単位]	目標値(増分)	[単位]
キ. 令和2年度増加分		人		人		%		件
ク. 令和3年度増加分		人		人		%		件
ク. 令和4年度増加分		人		人		%		件
ク. 令和5年度増加分		人		人		%		件
サ. 令和6年度増加分	1,800	人	1,000	人	15	%	3	件
シ. 上記キ～サの累計(自動表示)	1,800	人	1,000	人	15	%	3	件

KPIの実績値	実績値(増分)	[単位]	実績値(増分)	[単位]	実績値(増分)	[単位]	実績値(増分)	[単位]
セ. 令和2年度増加分の実績値		人		人		%		件
ソ. 令和3年度増加分の実績値		人		人		%		件
タ. 令和4年度増加分の実績値		人		人		%		件
チ. 令和5年度増加分の実績値		人		人		%		件
ツ. 令和6年度増加分の実績値	1,674	人	527	人	9.6	%	5	件
	目標値に対する達成度合い		目標値に対する達成度合い		目標値に対する達成度合い		目標値に対する達成度合い	
	93%	②目標値の7割以上達成	53%	③目標値の5割以上達成	64%	③目標値の5割以上達成	167%	①目標値を達成
テ. KPI増加分の累計(実績)	1,674	人	527	人	9.6	%	5	件
	目標値に対する達成度合い		目標値に対する達成度合い		目標値に対する達成度合い		目標値に対する達成度合い	
	93%	②目標値の7割以上達成	53%	③目標値の5割以上達成	64%	③目標値の5割以上達成	167%	①目標値を達成

ナ. 実績値累計(テ)の目標達成、未達成理由(達成または未達成になった理由、及び未達成の場合は今後の解決策(案))	市場状況として、大手企業や都市部への就職志向が高いことなどから、目標に届いていない。 首都圏の大学や県内高校との連携を継続しつつ、デジタルクリエイティブ産業の創出に取り組む。魅力的な就職先を発信・誘致することで、UIターン就職の増加を図る。	本事業に人材確保数について、昨今の「売り手市場」の現状から大手企業・都市圏就職の志向が高くなったことや人手不足から首都圏大企業の採用意欲が高いことなどが影響したと考えられる。 人手不足感の解消につながるよう、企業及び求職者へ丁寧な支援を実施したい。	企業主体のリスキリングの好事例の創出、セミナー開催・県HPや支援機関等と連携した情報発信を実施することより、人手不足が深刻化する中、DX人材の育成・確保、リスキリングの必要性に対する県内企業の理解が進んだことがリスキリングの実施率が向上した理由だと考えられる。 今後も、企業がリスキリングに取り組むに必要となる情報発信を続けていく。
---	---	---	---

有識者コメント
UIターン希望者の支援については、引き続き力を入れて取り組む必要があります。都市部や大手企業への就職志向が強い中で、人材確保の観点から積極的な支援は重要です。高校生インターンシップについても、継続的な促進と拡大が求められます。社会の仕組みや生活設計の理解を深める内容をセットで提供できれば、より効果的な取組になるでしょう。また、交付金事業として高校生が群馬県知事のリバースメンターとして政策提言を行う取り組みは、高校生ならではの感覚や価値観を県政に反映させる新たな展開となり、若者の可能性を活かした地方創生の効果を生み出しました。今後はこうした好事例を創出・共有し、若手人材の確保や育成を継続・発展させることが望まれます。 DX推進人材育成やリスキリングに関しては、「どこにどのようなお願いをしたら良いかわからない」と考える企業も多い中で、行政による支援は有効です。業務効率化や人材確保につながることを期待されます。一方、ぐんまネクストジェネレーターについては、今年度からの事業であるため費用対効果の評価が課題です。年5人程度のマッチングが将来的にどの程度の起業や経済効果に結びつかは測りにくいものの、県内での起業促進という観点では今後の効果検証が必要です。 KPIの達成状況を見ると、人手不足の中で大手企業や都市部志向が強く影響したため、KPI1は93%に留まりました。しかし、KPI2やKPI3は厳しい人材確保環境の中で5割以上の達成率を確保し、KPI4は県内企業や県内外の大学に出向くなど丁寧な活動を行った結果、167%の達成率を達成しています。これらの成果は、引き続き若手人材の確保・育成や地方創生の施策に活かすことが重要です。

# デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）に係る事業評価

## A. 基礎情報

交付対象事業の名称	実績額（総事業費） [単位：円]
温泉文化の振興を呼び水とした地場産業・地域の活性化	63,927,574

## B. KPIの設定・成果

ア. 本事業における重要業績評価指標（KPI）の名称		KPI 1		KPI 2		KPI 3		KPI 4	
		当初値	[単位]	当初値	[単位]	当初値	[単位]	当初値	[単位]
KPIの当初値	オ. 事業実施計画の申請時点	-386	人	6,422	人	0	人	45	店
	※事業実施計画上の事業開始前（現時点）をご記載ください。	計測年月		計測年月		計測年月		計測年月	
		令和5	年	令和5	年	令和5	年	令和5	年
事業実施計画の申請時点でのKPIの目標値設定	キ. (継続事業のみ) 令和2年度増加分	目標値 (増分)	[単位]	目標値 (増分)	[単位]	目標値 (増分)	[単位]	目標値 (増分)	[単位]
	ク. (継続事業のみ) 令和3年度増加分		人		人		人		店
	ク. (継続事業のみ) 令和4年度増加分		人		人		人		店
	コ. (継続事業のみ) 令和5年度増加分		人		人		人		店
	サ. 令和6年度増加分	78	人	300	人	5,500	人	3	店
	シ. 上記キ～サの累計 (自動表示)	目標値 (増分)	78	人	目標値 (増分)	300	人	目標値 (増分)	5,500
KPIの実績値	セ. (継続事業のみ) 令和2年度増加分の実績値	実績値 (増分)	[単位]	実績値 (増分)	[単位]	実績値 (増分)	[単位]	実績値 (増分)	[単位]
	ソ. (継続事業のみ) 令和3年度増加分の実績値		人		人		人		店
	タ. (継続事業のみ) 令和4年度増加分の実績値		人		人		人		店
	チ. (継続事業のみ) 令和5年度増加分の実績値		人		人		人		店
	ツ. 令和6年度増加分の実績値	5,364	人	736	人	15,786	人	0	店
	テ. KPI増加分の累計 (実績)	実績値 (増分)	5,364	人	実績値 (増分)	736	人	実績値 (増分)	15,786
		目標値に対する達成度合い		目標値に対する達成度合い		目標値に対する達成度合い		目標値に対する達成度合い	
		6,877 %	① 目標値を達成	245 %	① 目標値を達成	287 %	① 目標値を達成	0 %	④ 目標値の達成は5割未満
		実績値 (増分)	[単位]	実績値 (増分)	[単位]	実績値 (増分)	[単位]	実績値 (増分)	[単位]
		5,364	人	736	人	15,786	人	0	店
		目標値に対する達成度合い		目標値に対する達成度合い		目標値に対する達成度合い		目標値に対する達成度合い	
		6,877 %	① 目標値を達成	245 %	① 目標値を達成	287 %	① 目標値を達成	0 %	④ 目標値の達成は5割未満
ナ. 実績値累計 (テ) の目標達成・未達理由 (達成または未達になった理由、及び未達の場合は今後の解決策 (案))	県内市町村等と連携した移住セミナーや相談会の開催、情報発信等により、移住希望地ランキング1位となったほか、温泉文化を始めとした地域の魅力が様々なメディアで取り上げられ、転入者数増加に効果があったと考えられる。		KPI対象のほぼ全ての温泉地で対前年比増の観光入込客数となったため、目標を達成することができた。		公式HP及びSNSでの周知に加え、関連イベントでの事前PR等の実施が集客につながった。		需要増加に対応する供給体制を整えている途中段階であるため、未達となっている。今後、事業の活用により整備した供給体制により指定店舗の増加に繋げたい。		

### 有識者コメント

群馬県は地場産品や温泉文化など、地域の魅力を積極的にPRしており、各KPIの達成に一定の成果を上げたと評価できる。

まず、KPI1「地域の人口」では、県内市町村と連携した移住セミナーや相談会の開催、情報発信などにより、移住希望先ランキング1位を獲得するとともに、転入超過数の増加にも寄与した。加えて、コロナ以降、群馬県内で撮影されたTV番組が増え、県のPR活動の効果もあって、県のイメージ向上が期待される。県庁での各種イベント開催により、数客が下がり親しみを感じる場所になったことも、県の特徴として評価できる。

次に、KPI2「主要温泉地観光入込客数」については、対象となるほぼすべての温泉地で増加が見られ、県の温泉文化の魅力が広く発信できたことが影響している。温泉地の観光客増加のみならず、児童・生徒が学ぶ機会を通じて県民の温泉文化理解を深める取組も重要である。

KPI4「上州地鶏指定店舗数」は、供給体制整備段階のため未達であるものの、今後の事業活用により設備や供給体制が整備されれば、上州地鶏の増産・安定生産が実現し、指定店舗数の増加が期待される。上州地鶏は上州牛と並ぶ群馬の味覚の柱となる可能性を持ち、地鶏目的の観光客増加にもつながる取組の強化が望まれる。

また、少子高齢化社会における労働力確保の課題として、外国人労働力の活用も必要である。分断を生まない労働条件の確保に加え、外国人に対する日本の法律や文化の学習機会、受入側と外国人との交流を通じた文化理解の促進も同時に進めるべきである。

全体として、群馬県の特長と知事自らの積極的な働きかけにより、温泉文化や地域の魅力を効果的にPRできたことが、各指標の目標値達成に大きく寄与したと評価できる。上州地鶏の知名度向上や温泉文化の理解促進など、今後も地域の特色を生かした施策の継続・強化が期待される。

# デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）に係る事業評価

## A. 基礎情報

交付対象事業の名称	実績額（総事業費） [単位：円]
大阪・関西万博を契機とした誘客プロモーション	9,555,700

## B. KPIの設定・成果

ア. 本事業における重要業績評価指標（KPI）の名称		KPI 1		KPI 2		KPI 3		KPI 4	
		当初値	[単位]	当初値	[単位]	当初値	[単位]	当初値	[単位]
<b>KPIの当初値</b>	オ. 事業実施計画の申請時点 ※事業実施計画上の事業開始前（現時点）をご記載ください。	地域における旅行消費総額	[単位]	宿泊者1人当たりの宿泊日数	[単位]	外国人延べ宿泊者数	[単位]	ベトナムの政府要人・現地企業等関係者による万博開催前から開催後の来県者数	[単位]
		3,500	億円	1.20	人	66,670	人	0	人
		計測年月		計測年月		計測年月		計測年月	
		令和元年 年 月		令和4 年 月		令和5 年 月		令和2 年 月	
<b>事業実施計画の申請時点でのKPIの目標値設定</b>	(継続事業のみ) キ. 令和2年度増加分	目標値 (増分)	[単位]	目標値 (増分)	[単位]	目標値 (増分)	[単位]	目標値 (増分)	[単位]
			億円	人	人	人	人	人	人
	(継続事業のみ) ク. 令和3年度増加分		億円	人	人	人	人	人	人
	(継続事業のみ) ケ. 令和4年度増加分		億円	人	人	人	人	人	人
	(継続事業のみ) コ. 令和5年度増加分		億円	人	人	人	人	人	人
	サ. 令和6年度増加分	1,100	億円	0.06	人	95,000	人	15	人
シ. 上記キ～サの累計 (自動表示)		目標値 (増分)	[単位]	目標値 (増分)	[単位]	目標値 (増分)	[単位]	目標値 (増分)	[単位]
		1,100	億円	0	人	95,000	人	15	人
<b>KPIの実績値</b> <small>※見込みではなく実績をご記載ください。</small>	(継続事業のみ) セ. 令和2年度増加分の実績値	実績値 (増分)	[単位]	実績値 (増分)	[単位]	実績値 (増分)	[単位]	実績値 (増分)	[単位]
			億円	人	人	人	人	人	人
	(継続事業のみ) ソ. 令和3年度増加分の実績値		億円	人	人	人	人	人	人
	(継続事業のみ) タ. 令和4年度増加分の実績値		億円	人	人	人	人	人	人
	(継続事業のみ) チ. 令和5年度増加分の実績値		億円	人	人	人	人	人	人
	ツ. 令和6年度増加分の実績値	577	億円	0.00	人	249,940	人	8	人
テ. KPI増加分の累計 (実績)		実績値 (増分)	[単位]	実績値 (増分)	[単位]	実績値 (増分)	[単位]	実績値 (増分)	[単位]
		577	億円	0	人	249,940	人	8	人
目標値に対する達成度合い		52 %	③目標値の5割以上達成	-	④目標値の達成は5割未満	263 %	①目標値を達成	53 %	③目標値の5割以上達成
目標値に対する達成度合い		52 %	③目標値の5割以上達成	0 %	④目標値の達成は5割未満	263 %	①目標値を達成	53 %	③目標値の5割以上達成
ナ. 実績値累計 (テ) の目標達成・未達理由 (達成または未達になった理由、及び未達の場合は今後の解決策 (案))		旅行消費額の前年比は、日本人観光客は11.3%、外国人観光客は189%となっている。さらに消費額を増加させるため、長期滞在在化やコンテンツ創出支援を通して、消費単価増に取り組み。		宿泊者数は増加しているものの、東京圏からアクセスが良い旅行先としてのイメージが強く、宿泊日数が伸びていない。長期滞在するための体験コンテンツ不足が要因の一つであるため、コンテンツ創出に向けた支援を実施する。		円安の進行により日本旅行が割安に感じられたことから、インバウンド需要は好調に推移した。今後はさらなる訪日客の誘致に向けて、受け入れ環境の整備や観光コンテンツの創出支援を進めていく。		ベトナム大使館との調整の結果、事業内容に変更が生じたため。	

### 有識者コメント

温泉文化登録推進事業では、映像や動画を活用したPRに力を入れる方針であるが、論理的に理解を促すためには活字による情報発信も有用である。活字活用の検討も併せて進めることが望ましい。

KPI③の「外国人延べ宿泊者数」は、円安の影響もあり目標値の2倍を超えるなど、群馬県の取組が成果を上げていると判断できる。今後は、長期滞在につながる観光コンテンツの創出や受入環境の整備を進めることで、消費額の増加や更なる訪日客の誘致につなげることが期待される。

大阪・関西万博との距離など誘客の難しさはあるものの、これまで構築してきたネットワークを活かした取組は評価される。

# デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）に係る事業評価

## A. 基礎情報

交付対象事業の名称	実績額（総事業費） [単位：円]
群馬県移住支援・マッチング支援事業・群馬県起業支援事業	195,603,000

## B. KPIの設定・成果

ア. 本事業における重要業績評価指標（KPI）の名称		KPI 1		KPI 2		KPI 3		KPI 4	
		当初値	[単位]	当初値	[単位]	当初値	[単位]	当初値	[単位]
<b>KPIの当初値</b>	オ. 事業実施計画の申請時点 ※事業実施計画上の事業開始前（現時点）をご記載ください。	本移住支援事業に基づく移住者数		本起業支援事業に基づく起業者数		マッチングサイトに掲載された求人数		本移住支援事業に基づく18歳未満の世帯等を帯同して移住した世帯数	
		0	人	0	人	0	件	0	世帯
		計測年月		計測年月		計測年月		計測年月	
		令和5	年	令和5	年	令和5	年	令和5	年
事業実施計画の申請時点での、 <b>KPIの目標値設定</b>	(継続事業のみ) キ. 令和2年度増加分 ク. 令和3年度増加分 ク. 令和4年度増加分 シ. 令和5年度増加分 サ. 令和6年度増加分 シ. 上記キ～サの累計（自動表示）	目標値（増分）	[単位]	目標値（増分）	[単位]	目標値（増分）	[単位]	目標値（増分）	[単位]
			人		人		件		世帯
			人		人		件		世帯
			人		人		件		世帯
		1,253	人	10	人	500	件	133	世帯
		1,253	人	10	人	500	件	133	世帯
KPIの実績値 ※見込みではなく実績をご記載ください。	(継続事業のみ) セ. 令和2年度増加分の実績値 ソ. 令和3年度増加分の実績値 タ. 令和4年度増加分の実績値 チ. 令和5年度増加分の実績値 ツ. 令和6年度増加分の実績値 テ. KPI増加分の累計（実績）	実績値（増分）	[単位]	実績値（増分）	[単位]	実績値（増分）	[単位]	実績値（増分）	[単位]
			人		人		件		世帯
			人		人		件		世帯
			人		人		件		世帯
		625	人	10	人	380	件	160	世帯
		625	人	10	人	380	件	160	世帯
		目標値に対する達成度合い		目標値に対する達成度合い		目標値に対する達成度合い		目標値に対する達成度合い	
		50	%	③目標値の5割以上達成	100	%	①目標値を達成	76	%
		実績値（増分）		実績値（増分）		実績値（増分）		実績値（増分）	
		625	人	10	人	380	件	160	世帯
		目標値に対する達成度合い		目標値に対する達成度合い		目標値に対する達成度合い		目標値に対する達成度合い	
		50	%	③目標値の5割以上達成	100	%	①目標値を達成	76	%
ナ. 実績値累計（テ）の目標達成・未達理由（達成または未達になった理由、及び未達の場合は今後の解決策（案））		移住支援金事業を活用した移住者数は、令和3年度：168人、令和4年度：428人、令和5年度：578人、令和6年度：625人と着実に増加しており、今後も本事業を継続する。		交付決定者に対し、定期的な訪問・相談の実施やセミナー等を行い、事業の立ち上げから安定経営に向けた支援を実施したため。		コロナ禍をきっかけとした就職活動のオンライン化等の影響で地方就職への意識が高まっているものの、景気回復と人手不足を背景に首都圏・大手企業の採用意欲が高まっており、また、学生優位の「売り手市場」が続く中、中小企業へ学生の目が向きづらい傾向にあるため。		市町村と連携し積極的な情報発信を行うことで、目標を上回る事ができた。	

有識者コメント
<p>群馬県への移住については、さまざまな「群馬メリット」が徐々に理解されつつあり、移住希望ランキングで上位に入るなど一定の実績が見られる。移住支援金制度の周知や活用による移住実績の増加も評価できる。KPI4に示されるように、18歳未満を帯同した世帯の移住者数が目標を上回るなど、各種移住支援施策が効果を発揮していると認められる。</p> <p>一方で、暑い内陸性気候が天気予報を通じて知られていることから、夏でも過ごしやすいエリアの魅力を発信するなど、より具体的な情報提供が求められる。また、移住マッチングサイトについては改善の余地があり、移住希望者のニーズに沿った提案ができるよう整備を期待したい。</p> <p>群馬県への就職については容易な課題ではないが、学生時代からの働きかけや事業者との連携を強化することが重要である。</p> <p>起業支援についても成果が見られる。KPI2に示される起業者数は、交付決定者に対して事業立ち上げから安定経営に向けたきめ細かい支援を実施したことにより目標を達成した。</p> <p>今後も、県・市町村が連携して移住支援の取り組みを積極的に情報発信するとともに、移住希望者からの相談には丁寧に対応することが求められる。引き続き、移住・就職・起業の各分野における施策の充実を期待したい。</p>

# デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）に係る事業評価

## A. 基礎情報

交付対象事業の名称	実績額（総事業費）【単位：円】
ぐんま多様な人材就職支援（女性・シニア・障害者）事業	33,190,000

## B. KPIの設定・成果

ア. 本事業における重要業績評価指標（KPI）の名称		KPI1		KPI2		KPI3		KPI4	
		当初値	【単位】	当初値	【単位】	当初値	【単位】	当初値	【単位】
KPIの当初値	オ. 事業実施計画の申請時点	0	人	1,000	事業所	350	件	700	件
	※事業実施計画上の事業開始期（現時点）※ご記載ください。	計測年月 令和4年 年 月		計測年月 令和4年 年 月		計測年月 令和4年 年 月		計測年月 令和4年 年 月	
事業実施計画の申請時点での、KPIの目標値設定	（継続事業のみ） キ. 令和2年度増加分		人		事業所		件		件
	（継続事業のみ） ク. 令和3年度増加分		人		事業所		件		件
	（継続事業のみ） ク. 令和4年度増加分		人		事業所		件		件
	（継続事業のみ） コ. 令和5年度増加分	500	人	50	事業所	70	件	1,000	件
	（継続事業のみ） サ. 令和6年度増加分	500	人	50	事業所	70	件	1,000	件
	シ. 上記キ～サの累計（自動表示）	1,000	人	100	事業所	140	件	2,000	件
KPIの実績値 ※見込枠ではなく実績をご記載ください。	（継続事業のみ） セ. 令和2年度増加分の実績値		人		事業所		件		件
	（継続事業のみ） ソ. 令和3年度増加分の実績値		人		事業所		件		件
	（継続事業のみ） タ. 令和4年度増加分の実績値		人		事業所		件		件
	（継続事業のみ） チ. 令和5年度増加分の実績値	338	人	12	事業所	89	件	2,275	件
	（継続事業のみ） リ. 令和6年度増加分の実績値	384	人	47	事業所	58	件	2,004	件
		目標値に対する達成度合い		目標値に対する達成度合い		目標値に対する達成度合い		目標値に対する達成度合い	
		77 %	②目標値の7割以上達成	94 %	②目標値の7割以上達成	83 %	②目標値の7割以上達成	200 %	①目標値を達成
テ. KPI増加分の累計（実績）	実績値（増分）		実績値（増分）		実績値（増分）		実績値（増分）		
	722	人	59	事業所	147	件	4,279	件	
	目標値に対する達成度合い		目標値に対する達成度合い		目標値に対する達成度合い		目標値に対する達成度合い		
	72 %	②目標値の7割以上達成	59 %	③目標値の5割以上達成	105 %	①目標値を達成	214 %	①目標値を達成	
ナ. 実績値累計（テ）の目標達成・未達理由（達成または未達になった理由、及び未達の場合は今後の解決策（案））	企業の人手不足や民間人材紹介サービスの充実により、県の相談機関やセミナー等を利用せずに就職しやすくなっているため。また、非正規雇用からの賃金向上やスキルアップを目指すことを目的とした受講が多かったため、想定より少なかった。		講座の受講終了が年明けとなり、年度内の就労活動期間が短かったため、決定まで至る件数が少なかったため。		関係機関への認証制度広報の実施、審査保留案件のアフターフォローの徹底等を実施したため。		長年実施の事業のため、関係機関のつながりがしっかりとあり、スムーズに事業が展開できたため。		

### 有識者コメント

障害者向け求人開拓数については、当初の目標が低く設定されていた可能性があり、今後は法定雇用率を意識したより積極的な取り組みが求められます。また、多様な人材が活躍できる環境を整えることが重要であり、そのためには企業経営者の理解を深める事業に一層の期待が寄せられます。

# デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）に係る事業評価

## A. 基礎情報

交付対象事業の名称	実績額（総事業費） [単位：円]
群馬県プロフェッショナル人材戦略拠点事業	12,507,000

## B. KPIの設定・成果

ア. 本事業における重要業績評価指標（KPI）の名称		KPI 1		KPI 2		KPI 3		KPI 4		
		当初値	[単位]	当初値	[単位]	当初値	[単位]	当初値	[単位]	
KPIの当初値	オ. 事業実施計画の申請時点 <small>※事業実施計画上の事業開始前（現時点）をご記載ください。</small>	216	件	33	件	0	件			
		計測年月		計測年月		計測年月		計測年月		
		令和4	年	令和4	年	令和4	年			
事業実施計画の申請時点での、KPIの目標値設定	（継続事業のみ） キ. 令和2年度増加分	-	件	-	件	-	件			
	（継続事業のみ） ク. 令和3年度増加分	-	件	-	件	-	件			
	（継続事業のみ） ク. 令和4年度増加分	-	件	-	件	-	件			
	（継続事業のみ） コ. 令和5年度増加分	230	件	41	件	41	件			
	（継続事業のみ） サ. 令和6年度増加分	240	件	46	件	66	件			
	シ. 上記キ～サの累計（自動表示）	470	件	87	件	107	件			
KPIの実績値 <small>※見込みではなく実績をご記載ください。</small>	（継続事業のみ） セ. 令和2年度増加分の実績値		件		件		件			
	（継続事業のみ） ソ. 令和3年度増加分の実績値		件		件		件			
	（継続事業のみ） タ. 令和4年度増加分の実績値		件		件		件			
	（継続事業のみ） チ. 令和5年度増加分の実績値	245	件	34	件	20	件			
	（継続事業のみ） ツ. 令和6年度増加分の実績値	250	件	65	件	11	件			
	テ. KPI増加分の累計（実績）	495	件	99	件	31	件			
ナ. 実績値累計（テ）の目標達成・未達理由 （達成または未達になった理由、及び未達の場合は今後の解決策（案））		104	%	① 目標値を達成	141	%	① 目標値を達成	17	%	④ 目標値の達成は5割未満
		105	%	① 目標値を達成	114	%	① 目標値を達成	29	%	④ 目標値の達成は5割未満
				従来のマッチングに加え、副業・兼業人材へのアプローチに力を入れたことで目標値を超えた。				デジタル分野に関する相談自体が少なかった。今後は、デジタル分野に関する相談を行っていることも、周知に注力していく。		

### 有識者コメント

広報活動や副業・兼業人材へのアプローチに注力した結果、KPI1およびKPI2は高い達成率を獲得した。また、交付金事業を通じて、県内中小企業等に対して経営相談を実施し、プロフェッショナル人材の活用を促進、250件のマッチング実績を創出するなど、地方における雇用創出にも一定の成果を上げている。今後は、マッチングやきめ細やかなフォローアップに加え、ヒアリング時にデジタル技術を活用した課題解決や、そのために必要な人材活用の提案を行うことで、KPI3の目標達成を目指すことが期待される。